



かぞ 市議会だより

発行日／令和3年3月1日

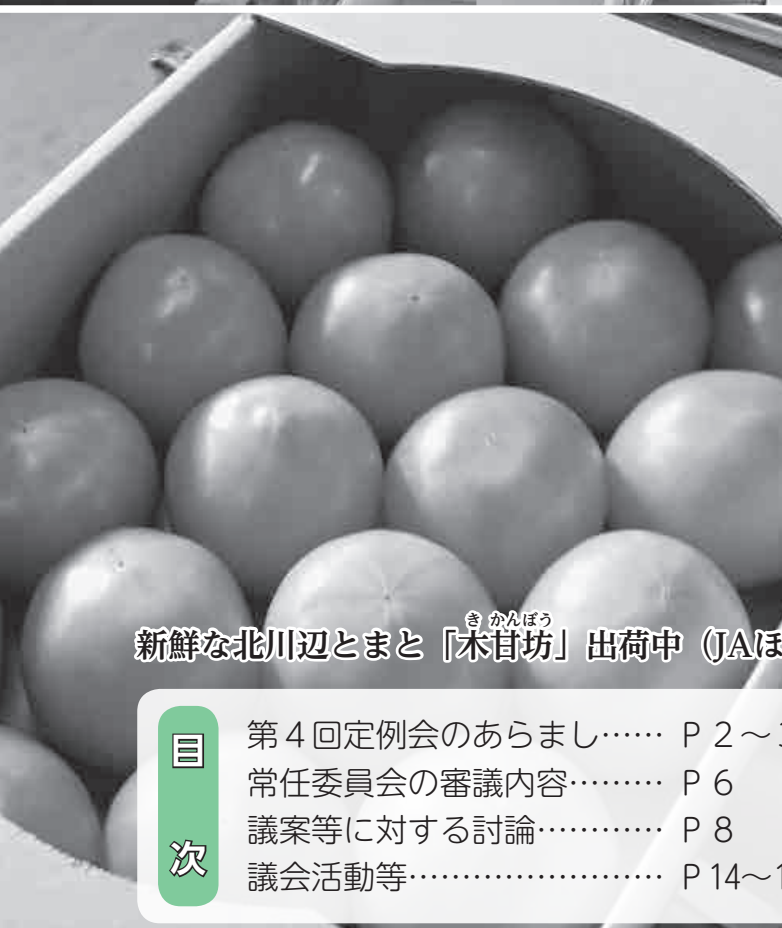
発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第47号◎



新鮮な北川辺とまと「^{きかんぼう}木甘坊」出荷中 (JAほくさい北川辺支店内トマト選果場)



次

第4回定例会のあらまし…… P 2～3

常任委員会の審議内容…… P 6

議案等に対する討論…… P 8

議会活動等…… P 14～15

議案に対する質疑…… P 4～5

議案等の審議結果…… P 7～8

市政に対する一般質問…… P 9～13

傍聴者の皆様へ…… P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会

検索



一般会計補正予算等 可決

主な議案等の一部を紹介します。

令和2年度一般会計 補正予算(第8号)

・自治協力団体活動促進 事業 (200万円)

自治協力団体が管理する集会所の緊急的な修繕等に係る補助金に要する経費です。

・市民総合会館管理運営 事業 (473万円)

市民プラザかぞの冷暖房設備の温度管理を行う圧縮機が、経年劣化により故障したことに伴う修繕に要する経費です。

・農地利用集積推進事業 (1億636万4千円)

農地中間管理機構に農業振興地域内の農地を一定の要件を満たした上で、貸し付けた地域及び個人に対する機構集積協力金です。

・農業公社支援事業 (2000万円)

平成26年に設立された(株)かぞ農業公社について、安定した経営のもと、農地の有効活用や保全等による耕作放棄地の発生防止等のセーフティネットとしての役割となることを支援するための追加出資金です。



・防災行政無線管理運営 事業 (948万2千円)

無償貸与している防災ラジオについて、受信環境を向上させるため、送

信設備から発信する電波出力を増強するための改修に要する経費です。

・小学校施設整備事業 (207万9千円)

令和3年度に特別支援教室が増加する見込みであることから、エアコンを設置し教育環境を整備するものです。

新型コロナウイルス 感染症対策関連補正 予算

・生活困窮者住居確保給付 事業 (505万1千円)

離職や廃業、収入減少などにより住居を失うおそれがある市民への家賃相当額を支給するための算定方法の見直しなどにより、申請件数が増加していることから、増額するものです。

・高齢者予防接種事業 (573万2千円)

高齢者の新型コロナウイルス

イルス感染症とインフルエンザとの同時感染による重症化等のリスクを軽減するため、令和2年12月31日までに接種した方の自己負担額をこれまでの千円から無料にするこにより、接種率の増加が見込まれることから増額するものです。



・新型コロナウイルス感 染症予防対策事業 (250万円)

早期発見により感染拡大を防止するため、集団感染のおそれがある場合、保健所が幅広く行うPCR検査の対象とならなかった希望する65歳以上の方のPCR検査費用を負担するための経費です。

第4回 定例会の あらまし

令和2年第4回定例会は、11月25日から12月10日までの16日間の会期で開催しました。

今期定例会におきましては、令和2年度一般会計補正予算をはじめとした市長提出議案等28件、議員提出議案3件を審査し、27件を原案可決、2件を否決、1件を閉会中の継続審査とし、1件の人事案件に同意しました。

このほか、提出された2件の請願を採択及び趣旨採択としました。

なお、審議結果につきましては、7ページ及び8ページをご覧ください。

令和2年度国民健康保険
直営診療所特別会計補正
予算(第2号)

・一般管理事業(47万円)

令和3年3月に開始されるマイナンバーカードの健康保険証としての利用に対応するため、国民健康保険北川辺診療所におけるマイナンバーカード読取端末等の整備をするための経費です。

条 例

◇加須市消費生活センター
条例の一部を改正する条例

相談の開始時間を令和3年4月1日より「午前9時」から「午前10時」に改めるものです。

◇加須市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◇加須市特別職職員の給与等に関する条例及び加須市教育委員会教育長の

給与等に関する条例の一部を改正する条例

◇加須市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、市議会議員、市長、副市長、教育長及び一般職職員の期末手当について、令和2年度の12月期の支給割合を0.05箇月引き下げ、令和2年12月1日から施行するとともに、令和3年度以降の期末手当の支給割合について、年間の総支給月数が今回改正後と同率となるように、6月期と12月期の支給割合を改正するものです。

人事案件

〔人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて〕

小沼 久義氏 (再任)
ひさよし

(上高柳)

◇公の施設の指定管理者の指定について

指定管理者となる団体を指定するものです。

事 件 案 件

名 称	団 体	期 間
加須市騎西放課後児童健全育成室	騎西風の子学童クラブ保護者会	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日
加須市田ヶ谷放課後児童健全育成室	田ヶ谷くすの木学童クラブの会	
加須市種足放課後児童健全育成室	種足つばさ学童クラブ父母会	
加須市鴻荃放課後児童健全育成室	鴻荃おおぞら学童クラブ保護者会	
加須市高柳放課後児童健全育成室	高柳けやき学童クラブの会	
加須市北川辺西放課後児童健全育成室	北川辺学童保育の会げんきクラブ	
加須市北川辺東放課後児童健全育成室	東小学童クラブの会	
加須市健康ふれあいセンター	株式会社クリーン工房	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日
加須市童謡のふる里おとおね農業創生センター	株式会社米米倶楽部	
加須市ライスセンター	株式会社かぞ農業公社	

請 願

加須市北大桑上・下地区開発促進に関する請願
積極的に取組み、早期開発を求めるものです。

(採択)

米価の安定を求める請願

コロナ禍等による過剰在庫を政府が買上げ米価暴落を回避すること及び米の需給と価格の安定に責任をもつことについて、政府に意見書送付を求めるものです。

(趣旨採択)

継続審査

「第2次加須市総合振興計画基本構想」を審査するため、第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。

委員長 新井 好一
副委員長 齋藤 理史

委員 池田 年美

竹内 政雄 関口 孝夫

野中 芳子 小坂 徳蔵

金子 正則

私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案と 疑質

令和2年度一般会計 補正予算(第8号)

・高齢者予防接種事業

議員 インフルエンザワクチンが全国的に不足していることから、無料で接種できる期間を延長することについての考えをお伺いします。

健康医療部長

新型コロナウイルスの同時感染を防止するため、インフルエンザワクチンの早期接種を目的に、埼玉県の接種費用に対する補助を踏まえ、令和2年12月までの接種について自己負担を無料としたことから、期間の延長は考えておりません。

・防災行政無線管理運営事業

議員 電波出力を増強する設備改修により、防災ラジオの聞き取りづらさが解消される見通しについてお伺いします。

環境安全部長

防災ラジ

防災ラジオ向けの電波発信設備 (アナログ再送信設備)

	現在の出力	増強後の出力
市役所舎 本庁	5W	→ 10W
北川辺 総合支所	2.5W	→ 5W

オが聞こえない等の問合せがあった246世帯のうち、205世帯が職員による防災ラジオの設置位置やアンテナの調整により改善され、20世帯が訪問日等の調整中、21世帯がダイポールアンテナの設置調整中となっております。今回の電波出力増強とこれら受信する側の対策により、聞き取りづらさは、ほぼ解消できる見込みと考えております。

なお、設備改修につきましては、補正予算が成立後、令和3年4月までに終了できるように進めてまいります。

・農業公社支援事業

議員 農業公社の今後の課題、及び出資者である市とJAとの関係についてお伺いします。

経済部長兼農業委員会事務局長

各地域に点在する作業効率の悪い農地の借受けの増加に伴い、農作業の遅れとその影響により収穫量が低下したところなどから、適期に作業が行える工夫や環境を整え、安定した収入を確保すること、社員等の労働力の確保や設備及び農業機械等の更新についても、経営上の大きな課題であると考えています。

今後も水田を中心とした農業振興の一役を担い、市と同じく出資者であるJAほくさいと連携し、農業公社に適切かつ効果的な支援を行ってまいります。



令和2年度介護保険事業 特別会計補正予算(第3号)

・債務負担行為

生活支援コーディネーター委員 生活支援コーディネーターの配置及び業務の計画についてお伺いします。

福祉部長

生活支援コーディネーターの配置は、引き続き加須市社会福祉協議会に委託し、実施したいと考えております。

配置人数は一人ですが、ブルンズ会議の設置に向けた啓発活動や、各地域、地区のブルンズ会議の活動支援等につきましては、今後も生活支援コーディネーターと市職員とが連携して当たるところとしてまいります。



加須市都市公園条例の一部を改正する条例

議員 公園を4つの形態に分類し、一体的な設置、管理による市民及び市へのメリット、並びに効果についてお伺いします。

建設部長 市民へのメリットとしては、各公園が設置されている地域や地区のニーズ、利用実態に基づき、スポーツ・健康づくり型、遊び型、自然・

文化・歴史型、コミュニティ・広場型の4つの形態に再編することで、公園機能に応じた利用の促進が図れるものと考えております。また、災害時の避難場所とするなど防災面での機能を最優先にすることにより、防災面での活用が図られます。

一方、市のメリットとしては、4つの公園機能に即した管理を行うことによる効率的な維持管理

をすることなど、将来にわたる維持管理コストも効果的、効率的になると考えております。

さらに、公園サポーター制度を創設し、様々な担い手による公園の維持管理を進めることで、管理と活用の推進を図りたいと考えております。



第2次加須市総合振興計画基本構想について

議員 目標人口11万人の実現に向けた取り組みについてお伺いします。

総合政策部長 第2次加須市総合振興計画に位置付けた様々な施策を一層推進することにより、自然減を抑制するための合計特殊出生率を向上させ、社会増となっている年齢階層は今後も維持し、

社会減となっている年齢階層の向上を目指し、目標人口の実現を図ってまいります。

議員 農業共生ゾーンの中の一部を都市的土地利用にする必要があるのかお伺いします。

総合政策部長 本市は地域の約半分を農地が占める田園都市であることから、地域の特性を最大限に活用しながら中核的な都市として、秩序ある整

備と均衡ある発展を推進することとしています。

特に本市の立地特性を生かし、安定した雇用の創出に有効な企業誘致の推進に取り組んでいます。

農業共生ゾーンにおいても、優良農地の維持・保全を前提としながら、状況によつては、都市的土地利用への転換の可能性もあるという事です。

※第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会を設置し、閉会中の継続審査となりました。

加須市老人福祉センター条例の一部を改正する条例 加須市北川辺介護サービスセンター条例を廃止する条例 加須市保健センター条例の一部を改正する条例

議員 騎西、北川辺の老人福祉センターと北川辺介護サービスセンターを廃止する理由についてお伺いします。

福祉部長 騎西、北川辺の老人福祉センターは建物及び設備の老朽化が進んでおり、騎西老人福祉センターは耐震基準を満たしていない状況です。

また、騎西、北川辺及び大利根地域の保健センターをそれぞれ健康福祉センターとし、保健事業、介護予防事業を実施するとともに、高齢者の方の健康増進等の場として活用することから、廃止するものです。

北川辺総合支所長 北川辺介護サービスセンターは開設当時、北川辺地域内に通所による介護サービス提供事業所がなかったことから、介護サービス利用者を受皿として設置しましたが、現在では複数の民間による介護サービス提供事業所が開設されており、所期の目的を達成したため、廃止するものです。

議員 保健事業と介護予防事業を一体的に実施するための専門職の配置についてお伺いします。

市長 いきいき健康長寿室が今年度から発足しており、管理栄養士等の専門職は既に配置しております。新たに健康福祉センターにおいて実施される事業は、更に発展的に一体的な体制を整えて行うものであり、より充実した事業を展開し、所期の目的を達成してまいります。

常任委員会の審議内容

常任委員会は、12月7日、付託された一般会計補正予算等の3案件（総務常任委員会1議案、産業建設常任委員会2請願）について審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1 議案 可決

委員長 新井好一
副委員長 小坂 裕
委員 山下雄希、池田裕美子、及川和子、大内清心、中島正和、小勝裕真、竹内政雄

《一般会計補正予算（第8号）》

・職員人件費

問 人事院勧告による職員一人当たりの平均影響額は。

答 一般職職員一人当たり平均1万8810円の減です。

・障がい者相談管理（自立支援）事業

問 制度改正に対応するためのシステム改修の内容は。

答 主に報酬改定で加算等の見直し変更等に対応するための改修です。

・農業公社支援事業

問 農業公社の設立以降における決算年度末の収支額は。

答 平成26年が89万9千円の黒字、平成27年

が1126万7千円の赤字、平成28年が715万3千円の赤字、平成29

年が518万5千円の黒字、平成30年が337万8千円の赤字、令和元年が254万8千円の赤字です。

・道路維持管理事業

問 道路の損傷状況について、市民からの通報はあるのか。

答 市民からの通報のほか、道路ウォッチャー事業による通報や職員からの連絡もあります。

・債務負担行為の補正

問 図書資料購入に関して、令和3年度の図書館4館の図書購入の予定数は。

答 8230冊の予定です。



産業建設常任委員会

2 請願 採択
趣旨採択

委員長 中條恵子
副委員長 金子正則
委員 松本正行、栗原肇、小坂徳蔵、松本英子、関口孝夫、鎌田勝義、田中良夫

《加須市北大桑上・下地区開発促進に関する請願》

問 開発促進に関し、開発区域内の地権者の同意は得られているのか。

答（紹介議員） 地権者は北大桑上地区に71名、下地区に63名おり、全員から同意を得ています。

委員の意見 当地域は耕作放棄地も増え、開発促進をという農家の思いは理解できるが、市として開発地域の優先順位が決まっておらず、結論を出せないため、継続して審議をすべきです。

委員の意見 開発促進により雇用の場も確保でき、ぜひ開発を進めていただきたいことから、採択すべきです。

《米価の安定を求める請願》

問 来年も米価が下がる見通しなのか。

答（紹介議員） 農林水産省の米穀需要見通しによると、来年も約200万トンの在庫が発生することから、米価が下がるものと考えます。

委員の意見 生産者の保護という目的は理解できるが、米価の安定には国が政策を進めており、県も市も努力していることから、趣旨採択とすべきです。

委員の意見 農業従事者の立場としてはぜひ採択していただきたいが、農家の思いを理解いただければ趣旨採択でもよいと思います。

第4回定例会 会期日程

11・25(水)
本会議

11・30(月)
本会議

12・1(火)
（議案質疑等）
本会議

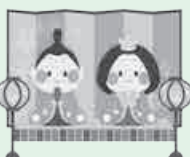
12・2(水)
（一般質問）
本会議

12・3(木)
（一般質問）
本会議

12・4(金)
（一般質問）
本会議

12・7(月)
（一般質問等）
常任委員会

12・10(木)
（一般質問）
本会議



令和2年第4回定例会 議案等の審議結果

●全議員が賛成した議案等

	議案番号等	議案名等
市長 提 出 議 案	107	令和2年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	108	令和2年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号）
	109	令和2年度加須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	110	令和2年度加須市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
	111	令和2年度加須市水道事業会計補正予算（第2号）
	112	令和2年度加須市下水道事業会計補正予算（第1号）
	113	加須市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
	114	加須市特別職職員の給与等に関する条例及び加須市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
	115	加須市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
	116	加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	117	加須市消費生活センター条例の一部を改正する条例
	118	加須市老人福祉センター条例の一部を改正する条例
	119	加須市北川辺介護サービスセンター条例を廃止する条例
	120	加須市保健センター条例の一部を改正する条例
	121	加須市都市公園条例の一部を改正する条例
	122	公の施設の指定管理者の指定について（加須市騎西放課後児童健全育成室）
	123	公の施設の指定管理者の指定について（加須市田ヶ谷放課後児童健全育成室）
	124	公の施設の指定管理者の指定について（加須市種足放課後児童健全育成室）
	125	公の施設の指定管理者の指定について（加須市鴻荃放課後児童健全育成室）
	126	公の施設の指定管理者の指定について（加須市高柳放課後児童健全育成室）
127	公の施設の指定管理者の指定について（加須市北川辺西放課後児童健全育成室）	
128	公の施設の指定管理者の指定について（加須市北川辺東放課後児童健全育成室）	
129	公の施設の指定管理者の指定について（加須市健康ふれあいセンター）	
130	公の施設の指定管理者の指定について（加須市童謡のふる里おとおね農業創生センター）	
131	公の施設の指定管理者の指定について（加須市ライスセンター）	
諮問	1	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

●閉会中の継続審査となった議案

	議案番号	議案名
市長 提 出 議 案	132	第2次加須市総合振興計画基本構想について

議案番号等	議案名等	審議結果	創政会					新政会					令和会		公明党			日本共産党		改革フォーラム								
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子	野中芳子
市長 提出議案	106	令和2年度加須市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	6	加須市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	少人数学級の早期実現を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●
	8	政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●
請願	3	加須市北大桑上・下地区開発促進に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	米価の安定を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。 ※審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。
 ※趣旨採択…請願・陳情について、願意は十分理解できるが、当分の間は実現することが困難である場合等に、趣旨には賛成という採択です。

議員提出議案

◇加須市議会委員会条例の一部を改正する条例

予算と決算の審査を原則全議員が行い、両審査を総合的・一体的に行うことなどを目的に、分科会方式による予算決算常任委員会を設置するものです。

◇少人数学級の早期実現を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が蔓延する危険の中で学ぶ子どもたちに、安全で安心、豊かな学校生活を提供するために、小・中学校等における少人数学級を早急に求めるものです。

◇政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書

政府が被爆者と国民の声に誠実に応えるよう、政府に対して核兵器禁止条約に調印・批准を強く求めるものです。

議案等に対する討論

採決に先立ち、議案等に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

令和2年度一般会計補正予算(第8号)

賛成

新型コロナウイルス感染症対策のほか、緊急性を要する予算等の措置であり適正と認めます。債務負担行為の補正のプラスチック類・ゴム製品中間処理委託は、市民が安心して快適な生活が送れる環境に配慮する事業者に委託することを要望し、本案に賛成するものです。

少人数学級の早期実現を求める意見書

反対

文部科学省は来年度予算の概算要求の中で、少人数学級の実現に向けた整備費を盛り込んだと報道されており、国も動き

出しています。取組が開始された国における少人数学級の推進をまずは見守る姿勢であることから、本案に反対するものです。

政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書

反対

内閣官房長官は会見で、同条約には国の現実な安全保障の観点が見えており、核廃絶のアプローチが違うため、加盟への署名はしないと述べました。この立場は理解できることから、本案に反対するものです。

加須市北大桑上・下地区開発促進に関する請願

反対

開発について農用地の除外を理解していたため、県と市で連携して探ることや議論するセクションを設けることなど更なる審査が必要であり、本請願の継続審査を主張するものです。

ここが聞きたい！

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に10～13ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

池田年美議員 (公明党)

- 行政手続における押印廃止について
- 風疹ワクチンの費用助成について
- 学校教育について

佐伯由恵議員 (日本共産党)

- コロナ禍における学校の安全対策について
- 水害対策について

森本寿子議員 (公明党)

- 妊娠・出産支援について
- 子どもの貧困対策について
- ごみ収集事業者への支援について

大内清心議員 (公明党)

- 「子どもを守る」児童虐待防止対策について
- 市民サービスの向上について
- 「オーラルフレイル」予防対策について
- 市立図書館に「SDGs」を学び親しんでもらうための専用コーナー設置について

竹内政雄議員 (創政会)

- 加須駅南口地域のまちづくりについて
- 株式会社かぞ農業公社について

原田 悟議員 (令和会)

- 災害に向けて、今、準備・検討が必要なことについて

金子正則議員 (新政会)

- インフルエンザワクチンの接種状況について
- コロナ禍で広がる学校の代替行事について
- 来年の市の事業の対応について
- 都市計画道路幸手・久喜・加須線について

中條恵子議員 (公明党)

- 第2次加須市総合振興計画について
- 少人数学級の推進について
- 移動式赤ちゃんの駅について

野中芳子議員 (改革フォーラム)

- プラスチック類、ゴム製品の処理について

中島正和議員 (令和会)

- 行財政改革について

池田裕美子議員 (改革フォーラム)

- 来年4月1日施行の改正社会福祉法について
- 女性への暴力撲滅について
- 市長と担当部長との意思疎通に関する疑問について

松本英子議員 (日本共産党)

- ごどものすこやかな成長について
- 高齢者の尊厳を守り、安心して住み続けられる地域づくりについて
- 放課後児童の安心・安全な環境確保について

新井好一議員 (創政会)

- 新型コロナウイルス感染症防止について
- 災害に強いまちづくりについて

山下雄希議員 (新政会)

- 加須市の発展について
- SDGsについて

及川和子議員 (日本共産党)

- コロナ禍の下で高齢者が健康で安心して住み続けられる対策について
- コミュニティバスの運行改善について
- 地域住民のいのちと安全を守る風水害対策について

小坂徳蔵議員 (日本共産党)

- 新型コロナウイルス感染から、市民のいのちと健康を守るため、PCR検査の拡大について
- 市民の健康と暮らし最優先の市政について
- 消費税増税とコロナ禍で苦境下にある地域経済支援及び雇用対策について



デイジー教科書導入の 考えは

池田 年美 議員

池田 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、GIGAスクール構想によるタブレット端末の整備により、読み書きに困難を抱える子どもの学習環境が大幅に改善される可能性があります。一方、日本障害者リハビリテーション協会のマルチメディアデイジー教科書の導入で、黒板が見えづらい子どもや外国籍の子どもにも有効であると聞いていますが、導入についての考えをお伺いします。

教育長 デイジー教科書は、教科書の内容をデジタル化し、文字の拡大や着色による強調、音声再生等ができます。現在本市は、デイジー教科書は使用しておりません。しかし、今年度中に本市で整備するChrome OSでの使用について、日本障害者リハビリテーション協会が対応できるよう準備をしているとのことですので、今後のシステムの充実を確認し、より効果的に活用できるように検討してまいります。

コロナ禍における学校 スタッフの配置とトイレ 改修の考えは

佐伯 由恵 議員

佐伯 コロナ感染から子どもを守るため、学校では消毒や健康チェック等が行われ、教員の長時間労働が更に増大している中、スクールサポートスタッフや学習指導員の未設置校は合わせて23校とのこと。ハローワークでの求人募集を行い、速やかな配置を提案します。また、学校の大規模改修は年1校であり、感染防止と災害時避難場所の両面から、トイレの洋式化等の優先的な改修を求めますが考えをお伺いします。

教育長 スクールサポートスタッフや学習指導員は、早急な配置が必要であると捉えております。募集については、退職教職員等への呼び掛けを中心に行っており、ハローワークを通じた求人募集については検討してまいります。

市長 これまで老朽化や耐震上の問題がある校舎等を優先し、順次丸ごと改修するという形で進めており、トイレの改修は、大規模改修に併せてこれからも計画的に進めてまいります。

子どもの貧困対策について の考えは

森本 寿子 議員

森本 子どもの貧困対策として、子ども食堂等の今年度の活動と、これまでの対策をさらに推し進め、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長して行けるまちづくりについての考えをお伺いします。

子ども局長 今年度、子ども食堂では、新型コロナウイルス感染症防止のため、通常の活動は休止し、生活困窮世帯を対象にお弁当の配布を、フードパントリーでは個人宅に食材を直接配達したと伺っております。また、家庭で余った食材を回収し必要とする方へ提供するフードドライブを、令和2年7月と11月に実施いたしました。

市長 子どもの貧困率が非常に高くなっている現状から、「教育・保育の支援」、「生活の安定に資するための支援」、「保護者に対する就労の支援」、「経済的な支援」の4つの柱を中心に、総合的に取り組んでまいりたいと考えております。

「書かない窓口」導入の 考えは

大内 清心 議員

大内 住民票等を市役所窓口で申請する場合、申請書を記入しなければなりません。市民の負担軽減や高齢者へのサポート体制構築のため、身分証明書の提示や聞き取りにより、職員が必要事項をパソコンへ入力し、作成した内容を申請者が確認し、署名することで簡単に申請が終了する「書かない窓口」の導入についての考えをお伺いします。

総務部長 本市では、マイナンバーカードの普及拡大とともにコンビニ交付サービスを推進して利便性の向上を図っており、コンビニのマルチコピー機を操作することで、住民票等を取得できます。コンビニ交付サービスを「書かない窓口」の一つと捉え、市民の負担も軽減されて年々利用率も増加していることから、まずはコンビニ交付サービスを推奨してまいります。

加須駅南口地域における まちづくりについて

竹内 政雄 議員

竹内 令和4年6月の開院に向けて、加須駅南口から約500mのところ立地される埼玉県済生会加須病院の建設工事が進められています。今後、済生会加須病院を中心とした新しいまちづくりが期待されています。誰もが住み続けたいまちづくりは、本市にとって大変重要な課題であると思いますが、加須駅南口地域の今後のまちづくりの考えをお伺いします。

市長 本市は東北道や圏央道などの交通面で高いポテンシャルを有しており、開発等により発展する余地があると考えております。しかし、加須駅南口地域の大部分は農業振興地域内の農用地区域であることから、これらの課題解消に向けて地権者の方のご理解や市の考えを国や県に示すことが大事であると考えております。関係の皆さん方とともに、この地域の新たなまちづくりに全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

避難場所での食物アレルギーのある方への配慮を

原田 悟 議員

原田 災害に向け、今こそ、来年度への準備、検討が必要であると考えてます。避難者の中には、いろいろな配慮が必要な方がいます。その中で食物アレルギーについて、避難者名簿等の中ではどのように対応していくのかお伺いします。

こども局長 食物アレルギーへの配慮は、まずは本人からの自主申告をお願いしており、避難者カードへの記載を周知するとともに該当する方には、既に避難場所に備蓄してある赤色の災害時要援護者用ビブスを活用してまいりたいと考えています。また、市で備蓄しているアルファ米は、特定原材料等28品目を含まないアレルギー対応食品として備え、ビスケット、クラッカー及びパンは、アルファ米に偏らず食糧を確保する観点から備蓄しており、特定原材料を含むものの、卵を含まないアレルギーに配慮したのとしております。

コロナ禍で広がる学校の 代替行事の状況は

金子 正則 議員

金子 新型コロナウイルスの影響で、多くの学校行事が中止となりました。修学旅行や林間学校が中止となり、大切な思い出づくりの時間が失われてしまいました。こうした中、地域の方やPTAの方のご協力をいただき、代替行事を行い、思い出に残るイベントを行っている」と新聞、テレビ等で報道されていましたが、小・中学校の状況についてお伺いします。

学校教育部長 小・中学校における宿泊を伴う学習は、市内一斉に中止とし、日帰りの日程で目的地や見学、体験内容を検討し、代替行事として順次実施しております。例えば、自然を感じられる学習活動やバーチャルリアリティ映像の視聴、オンラインによる学習等、小・中学校ともに当初の計画と異なりますが、新しい生活様式に基づき、今できることを見極め、子どもたちにとって思い出に残る行事を計画、実施しております。

第2次加須市総合振興計画 策定に当たり重要とした 点は

中條 恵子 議員

中條 第2次加須市総合振興計画では、将来都市像を「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」と定められています。親しみやすく、市民の皆さんに喜んでいただけるような加須市になっていただければと思います。計画策定に当たり、重要とした点についてお伺いします。

市長 当計画において重要とした点は、一つ目が、安心安全な暮らしを確保するための地域医療体制の充実と災害に強いまちづくりとして特に水害対策の強化、二つ目が、高齢者福祉の充実、三つ目が、連続性のあるきめ細やかな子育て支援、四つ目が、利根川新橋と南北幹線道路などのインフラ整備の促進、そして、これらを着実に推進するための財源確保です。当計画案についてご承認いただければ、第2次総合振興計画に則り、改めて市政の舵取りに務めてまいりたいと考えております。

臭気対策等とプラスチック類の収集における市民への協力促進について

野中 芳子 議員

野中 プラスチック類・ゴム製品の間処理施設へのカラス等の対策や悪臭の対策として、市による定期的な臭気検査を実施すること、市民に食品トレー等のスパーへの回収や汚れを除くよう協力を促すことを提案します。市の対応及び今後の一般廃棄物処理基本計画について伺います。

環境安全部長 市から大利根地域の中間処理業者に対し、鳥類対策等として屋根等の設置を要請し、自主的に工事を行っておりますが、仕様変更や部品調達の遅れ等により完成に至っており、早期完成を強く要望しています。

市長 プラスチックの収集方法は、本市が行っている回収と同様の方法が国の方針として示されています。今後、法律の改正等が行われる見込みであることから、現在の方法を堅持し、改めて一般廃棄物処理計画の中に位置付けたいと考えております。

健全な令和3年度の予算編成に向けた考えは

中島 正和 議員

中島 財政力指数や経常収支比率などの健全な財政運営のための財政指標の結果、また、歳入における市税の減少、歳出における扶助費や公債費の増加など、歳入歳出の増減を踏まえた上で、今後における事業の政策や選択、さらに令和3年度の予算編成についての考えをお伺いします。

市長 本市の財政運営上、短期的な指標として、その年の経費をその年の収入でどの程度賄えるかという経常収支比率と、長期的な指標として、収入をどの程度確保できるかという財政力指数が色々な指標の中でも大きな課題であり、これらを注視しながら、現在、令和3年度の当初予算の編成作業を行っております。最終的な財源の構成については、各指標を念頭におき、市民サービスの質を維持するとともに、さらに向上できるように十分検討したいと考えております。

市ができる性暴力被害者救済の取組内容は

池田 裕美子 議員

池田 令和元年の埼玉犯罪被害者援助センターの報告によると被害内容別取扱件数全体の中で性関連事犯は55%も占めています。今年度は自粛生活が長引き性暴力の増加が問題視され、国は被害者の相談先であるワンストップ支援センターに繋がる全国共通短縮ダイヤル番号を10月に設定しました。この番号の周知方法と周囲の心無い言動による二次被害防止への取組について伺います。

総務部長 短縮ダイヤルの周知は、女性に対する暴力をなくす運動啓発ポスターの掲示や市ホームページへの掲載等により行っています。また、二次被害の防止については、国・県や警察等関係機関と連携して、市ホームページから二次被害の防止の参考となる国・県ホームページへのリンクを含め、様々な啓発を行っています。今後は市報等での啓発も検討してまいります。

加齢性難聴に対し補聴器購入費用補助の考えは

松本 英子 議員

松本 耳の間こえが悪くなると出掛けることを考えてしまい、社会とのつながりが希薄になり、ひきこもりや認知症に進んでいくと言われていきます。難聴の始まりの時点で補聴器を着けたほうがよいとされていますが、保険がきかないため、高齢者には大きな負担になっています。補聴器の購入費用の補助をして欲しいという声が寄せられています。支援についての考えをお伺いします。

市長 高齢の方を含め聴覚に障がいがあり、身体障害者手帳の交付を受けた方には、補聴器購入費等の一部を補助する補装具費支給制度があります。原則1割の本人負担はありますが、市民税非課税世帯の方は自己負担なしで購入できます。加齢性難聴は誰もがなる可能性があり、糖尿病や高血圧等の影響もあると言われておりますので、健康づくりや介護予防などの取組によってリスクを低減させることが重要だと考えております。

施設でのクラスター発生を防ぐための対応は

新井 好一 議員

新井 本市では、新型コロナウイルス感染症によるクラスターは発生していませんが、クラスターの芽はあったと考えます。その後拡大していないため、未然に防ぐことができたと思います。

11月初旬に施設の中で市の職員が感染したと報じられました。対応によってはクラスター化してしまうことは明らかです。初動態勢が大切であると考えますが、どのような対応をしたのかお伺いします。

健康医療部長 県からの情報だけでなく、市の職員課からの報告も受け、まずは保健所で濃厚接触者以外についても、拡大的にPCR検査を実施していただいています。さらに、保健所と調整を図った中で、市独自でPCR検査を実施いたしました。結果として、感染拡大に至らなかつたことから、適時適切な対応ができたものと考えております。

耕作放棄地の活用の考えは

山下 雄希 議員

山下 耕作放棄地は、現在利用されていないが、過去に作物が育てられていた土地で、再活用するのは難しいと言われている土地です。全国の自治体で問題解決に着手し、地域活性化に取り組む企業では農業の担い手や後継者不足の観点から取り組むプロジェクトも行われています。本市の耕作放棄地の面積及び今後の活用についてお伺いします。

経済部長兼農業委員会事務局長 令和元年度農地利用状況調査の結果、耕作放棄地の面積は約101haです。現在、埼玉型加須方式による圃場の拡大、道水路の整備支援等のほか、㈱かぞ農業公社が耕作放棄地の解消や利活用的一端を担い、農地の保全、耕作放棄地の発生防止のための支援をしています。今後も農業の経営安定化を図るため、多方面から方策を講じ、耕作放棄地の防止・解消等に取り組んでまいります。

高齢者のフレイル予防を含めた総合的な取組は

及川 和子 議員

及川 新型コロナウイルスの感染が世界的な広がりをみせてからおよそ1年が経過しています。コロナ禍で高齢者は心身の脆弱性が出る現するフレイル症状に陥ることが懸念されます。フレイルが進行すれば、要介護状態になります。しかし、フレイルに早く気づき、予防や治療をすることで健康な状態に改善し、元気に暮らすことができます。フレイル予防を含めた総合的な取組についてお伺いします。

市長 高齢者に対し様々な状況に応じた支援策を講じていく上で、保健と医療と介護を一体的に進める必要があると考え、新年度からレベルアップした体制で推進してまいりたいと考えております。その中で、生活習慣病予防、介護予防、健康の保持増進などの事業連携を図り、フレイル予防を含めた総合的な取組として、対応してまいりたいと考えております。

PCR検査を幅広く行い感染を抑える考えは

小坂 徳蔵 議員

小坂 市内でもこれまで幼稚園や小学校で陽性者が確認され、さらに家族に感染が広まっています。新型コロナウイルスの感染を抑え、各施設のクラスター発生を防止するために、幅広いPCR検査を実施することや、感染が命に直結する高齢者施設の職員等に、定期的なPCR検査を実施して、感染を事前に防ぐ措置を講ずることが重要でありますが考えをお伺いします。

市長 保健所でのPCR検査の対象とならなかつた子どもや高齢者に対し、市が必要と判断した場合、市の負担でPCR検査を行う独自の支援策により、速やかに対応してまいります。また、県では、高齢者施設の巡回を県職員が行い、各施設に対し、感染予防策などを指導等しており、その際、可能な限り市職員も同行し、県と連携した状況把握などに努めてまいりたいと考えております。

タブレット端末のオンライン講義を実施

令和2年10月29日(木)に議場で開催した全員協議会において、タブレット端末のオンライン講義を実施しました。当日は、全議員が1人1台のタブレット端末を操作しながら、機器の簡単な操作方法、議会のICT化と働き方改革、タブレット端末の活用事例等について、理解を深めました。



大規模水害時の避難対策動画を視聴

令和2年11月20日(金)に議場で開催した全員協議会において、利根川上流河川事務所が作成した「利根川4県境広域避難啓発ビデオ」と、市が作成した「災害に強いまちづくり」の動画を視聴しました。

今後の議員活動や加須市議会業務継続計画(市議会版BCP)見直しの際、参考にしていきたいと思います。



加須市議会基本条例の事業評価を実施

加須市議会では、平成30年7月に制定した加須市議会の最高規範である加須市議会基本条例第32条第1項により、本条例に基づく活動について、その事業評価を行いました。

今回は、条例制定後初めての事業評価であり、各議員(会派)ごとに事業を評価し、議会運営委員会が事業評価結果報告書をまとめました。

■各条文等の事業評価結果

評価区分	評価区分総数	評価区分割合
A(達成…8割程度目的を達成)	22	75.9%
B(一部達成…5割程度目的を達成)	2	6.9%
C(未達成…3割以下)	5	17.2%
合計	29	100.0%

※事業評価の結果について、詳細は市議会ホームページをご覧ください。



※前文、第1条から第4条まで及び第33条は評価の対象外。

第3期市議会モニターとの意見交換会を開催

令和2年12月25日(金)、議場において、第3期市議会モニターとの意見交換会を開催し、市議会の運営等に関して、要望や提言など様々な意見をいただきました。

当日は、市議会モニター10名と議会運営委員会委員7名のほか、議長、副議長及び傍聴議員の計31名が参加しました。



主な意見等	回答
質問が長い人や答弁が長い人がいた。時間内に終わるように簡潔にやっていただきたい。	議員は簡潔・明瞭に質問・質疑を行い、執行部も簡潔・明瞭に答弁するなど、時間内に終了するように努めてまいります。
本会議を傍聴したが、傍聴者が少ないと感じた。	市議会のホームページ、SNSなどにより情報発信し、今後とも色々な形で周知を図ってまいります。
市議会だよりに、議事の要点だけでもいいので、すべてを載せてほしい。	限られた紙面で、内容の充実を図りながら情報提供できるように努力してまいります。
傍聴席が暗く、資料が読みづらい。	構造上の問題があるため、今後の検討課題とさせていただきます。

議員の通称名や旧姓が使えるようになりました

令和2年11月16日に「加須市議会議員通称名等の使用に関する取扱規程」を制定しました。今後は、議長への申請後、承認が得られれば、公職選挙法の認定を受けた通称名や変更前の旧姓が使えるようになり、多様な人材が市議会に参画しやすくなります。

埼玉県議会に関する情報番組

「こんにちは県議会です」

一日曜日・午前10時～10時15分。テレビ埼玉にて放送中！

県議会の各定例会の様様や委員会委員長のインタビューなど、県議会に関するさまざまな情報をタイムリーに放送します。

すてきな賞品の当たるプレゼントコーナーもあります。

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご覧ください。

※これまでに放送した番組は、埼玉県議会ホームページ「埼玉県議会 議会中継」の「録画中継・広報番組」からご覧いただけます。スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



加須市議会本会議、委員会等の傍聴者の皆様へ

令和3年第1回定例会は、2月16日に開会し、3月17日まで行われています。
本定例会を傍聴する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに感染を予防するため、次のとおりお願いいたします。

傍聴する場合には、次のとおりお願いします

- ①入口にある消毒液で手を消毒してください。
- ②マスクを着用してください。
- ③4階議会事務局で受付を行う際、検温にご協力をお願いします。
(体温が37.5度以上の方は、傍聴できません。)
- ④傍聴席の座席は、1つおきに離れて座ってください。

受付での検温にご協力ください



次の場合には、傍聴できません

- ①息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ②重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ③上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
- ④その他、ご自身の症状に不安がある場合

※インターネットで本会議のライブ中継・録画中継を実施していますので、ご覧ください。

本会議をライブ中継と
録画中継でご覧になれます。
ぜひ、ご覧ください。

加須市議会 中継 検索



本会議をインターネットで中継

編集後記

東日本大震災から3月11日で10年を迎えようとしています。本市には双葉町から約1400人の方が避難され、現在も約400人の方が暮らしています。あの日の教訓を生かし、未来へ継承していかなければなりません。人類がこれまで様々な危機を乗り越え、命を繋いでこられた理由の一つにコミュニティの存在があると言われてます。この小さな共同体の中で情報を交換し、知恵を出し合い、食べ物分け合って生き残ってきたのです。人との関わりが希薄になった現代だからこそ、人との絆が大切なのではないでしょうか。そんな協働のまちづくりを目指し、「第2次加須市総合振興計画」の策定が進んでいます。

(編集委員 池田年美)

市議会だより編集委員会

委員長 小林利一 副委員長 金子正則

委員 池田裕美子 佐伯由恵 原田 悟 吉田健一 池田年美 山下雄希

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

